

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
サポートキッズうけんのいえ		令和8年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		保育士、言語聴覚士、作業療法士等二ーズに合わせて配慮を行っている。	今後も職員一人一人がスキルアップできるよう取り組んでいきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		絵カードや写真、白板等を使用して視覚的に取り組んでいる。	バリアフリーに関して、現在対象児がいらない為整備されていないが、今後必要に応じて検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		整理整頓を気にかけて、4Sを徹底して行っている。	今後も環境整備に努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別の部屋やパーテーションを利用している。	必要に応じて、引き続き取り組んでいく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		全職員が参加できるよう取り組んでいる。参加できなかった職員へは後日報告を行っている。	引き続き、より良い支援ができるよう努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		全職員で共有し、改善出来るよう努めている。	職員全体で保護者のニーズを把握し、引き続き改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に会議を行い、意見を出し合いながら改善に努めている。	今後もコミュニケーションを積極的に取り、業務改善に努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現在外部評価を行っていない。	今後は第三者による外部評価を行ってきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		毎月研修を行っている。	社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		SNSを活用している。	今後も、子ども達に合わせたプログラムを検討・実施していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		全職員で意見を出し合い、計画書に落とし込んでいけるようにしている。	今後も意見を出し合い、より良い支援に繋がるよう作成・支援を行っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援者会議で意見を出し合い行っている。	今後も意見を出し合い、より良い支援に繋がるよう努めていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		都度共有ができています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		各関係者より頂いた情報と日々の活動等から状況を把握するように努めている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		利用児や保護者のニーズに合わせて、必要な項目を支援内容に設定し作成を行っている。	引き続き、本人支援だけではなく家族支援や園や学校等に対しても対応し、より良い支援に繋げていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		全員で行っている。	引き続き取り組んでいく。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		固定化しないよう児童に合わせたプログラムや四季やイベント、制作活動も取り組んでいる。	今後も子ども達個々の成長に繋がるよう努めていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		必要に応じて臨機応変に対応している。	今後も必要に応じて個別・集団とを組み合わせ、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎週リーダーを決めて取り組み、支援前に活動内容の共有ができています。	引き続き取り組んでいく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		気になった事や改善点を話し合い共有している。	共有漏れがあることもある為、共有方法を工夫し取り組んでいく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		細かく記録を取れるよう努めている。	引き続き取り組んでいく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		全職員が意見を出し合い、見直しを行っている。	今後も計画の更新時やその他必要に応じてモニタリングをし、見直しを行っていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		関係機関との連携を行い、状況を理解した担当者が参画している。	会議の内容に関して、今後も職員間での共有を行っていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		会議を通して情報共有を行いながら、支援を行う体制を整えている。	引き続き取り組んでいく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		担当者会議や各園を訪問した際に、支援についてや様子等を話し合い、相互理解を深めている。	今後も積極的に連携を図っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に応じてやり取りを直接行うこともあったが、保育園やこども園を通して情報を提供してもらっている。	今後も積極的に連携を図っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	7		研修への参加は積極的に行っている。	センターと十分に連携はできていない為、今後の課題として連携していけるようにしていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		地域のイベントで交流する機会を設けている。	地域のこども達との交流をさらに増やしていくよう取り組んでいく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		インスタや送迎、個別での連絡などで共通理解を図れるよう努めている。	引き続き、密に連携が取れるよう努めていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に行っている。	今後も丁寧な説明に努める。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリング会議の際に話し合いを行い、それをもとに作成を行っている。	今後も保護者や本児の要望や意向の確認をしながら作成を行っていく。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		計画書の更新時に説明を行い同意を得ることができている。	今後も丁寧な説明を心がけていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		親子遊びや運動会、事業所でのイベントなどの際に交流できるよう行っている。	今後家族向けの研修会等を増やし、より密に交流ができるよう工夫していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情受付票を備えたり、責任者窓口を置き対応できるようにしている。	ご意見を頂いた際は適切に対応できるよう努める。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNSを活用し行っている。	HP・SNSを活用し日々の活動紹介や自己評価の結果の通信を行いながら、今後も周知に努めていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取扱いに関しては注意を図り、遵守の意識を高く持っている。	引き続き取り組んでいく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的に訓練を実施している。	策定しているマニュアルを契約時やSNSを活用し定期的に周知・説明していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		研修も行いながら、災害に備えて定期的に訓練も行っている。	今後も定期的に行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬がある際は与薬依頼書を作成し、確認を行いながら対応している。	引き続き取り組んでいく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時にアレルギーの有無を必ず確認している。	現在対象児がいないが、今後必要に応じて対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		全職員で共有し、再発防止に向け対策を検討している。	引き続き安全に配慮し支援を行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		全職員が研修を受けられるよう調整している。	引き続き取り組んでいく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			